

サンプルファイルの内容一覧

「py201.ipynb」

```
# -*- coding: utf-8 -*-  
  
print("宮沢賢治", "1896", "年生まれ")  
print("宮沢賢治", 1896, "年生まれ")
```

「py202.ipynb」

```
# -*- coding: utf-8 -*-  
  
chosha="宮沢賢治"  
daimei="銀河鉄道の夜"  
print(chosha, daimei)  
print(chosha, "「", daimei, "」")
```

「py203.ipynb」

```
# -*- coding: utf-8 -*-  
  
f = open("donguri.txt", encoding="utf-8")  
  
print("読み込み開始")  
  
for i in f:  
    print(i)  
  
f.close()  
  
print("読み込み終了")
```

「py204.ipynb」

```
# -*- coding: utf-8 -*-  
  
kaisu = 0  
  
fdon = open("donguri.txt", encoding="utf-8")  
fyam = open("yamaneko.txt", "w", encoding="utf-8")  
  
print("書き込み開始")  
  
for i in fdon:  
    kaisu +=1  
    print(kaisu, i[:-1], file=fyam)  
  
fdon.close()  
fyam.close()  
  
print("書き込み終了")
```

「py205.ipynb」

```
# -*- coding: utf-8 -*-

# このサンプルは、単純に、入力値をそのまま HTML ファイルに書き込む。
# 以下の、「print( """」から、カッコを閉じるまでのデータが書き込まれる。

fhtml = open("sf205.html", "w", encoding="utf-8")

print("書き込み開始")

print("""

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN"
      "http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8">
<title>HEAD 要素のサンプル</title>
</head>

<body>
<p>このファイルは、HEAD 要素のサンプルです。</p>
<p>文字コードとして「charset=utf-8」が入力されています。</p>
<p>タイトルとして「HEAD 要素のサンプル」が入力されています。</p>
</body>
</html>

""", file=fhtml)

fhtml.close()

print("書き込み終了")
```

「py206.ipynb」

```
# -*- coding: utf-8 -*-

# このサンプルは、単純に、入力値をそのまま HTML ファイルに書き込む。
# 以下の、「print( """」から、カッコを閉じるまでのデータが書き込まれる。

fhtml = open("sf206.html", "w", encoding="utf-8")

print("書き込み開始")

print("""

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN"
      "http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
<html>
```

「py206.ipynb」 続き

```
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8">
<title>BODY 要素のサンプル</title>
</head>

<body>

<h1>この部分は、「見出し 1」のサンプルです。</h1>
<h2>この部分は、「見出し 2」のサンプルです。</h2>
<h3>この部分は、「見出し 3」のサンプルです。</h3>
<p>この部分は、「パラグラフ」と「強制改行」<br>
のサンプルです。</p>
<hr>
<p>この上は、「横罫線」のサンプルです。</p>
<blockquote>この部分は、「引用文」のサンプルです。</blockquote>

<ul>
  <li>この部分は、「個条書きリスト」のサンプルです。
</ul>

<ol>
  <li>この部分は、「番号リスト」のサンプルです。
</ol>

<dl>
  <dt>この部分は、「定義型リスト」の見出し項目のサンプルです。
  <dd>この部分は、「定義型リスト」の内容項目のサンプルです。
</dl>

<table border="1">
  <tr>
    <th>この部分は、「表」の見出し項目のサンプルです。</th>
  </tr>
  <tr>
    <td>この部分は、「表」の内容項目のサンプルです。</td>
  </tr>
</table>

</body>
</html>

"", file=fhtml)

fhtml.close()

print("書き込み終了")
```

「py207.ipynb」

```
# -*- coding: utf-8 -*-

# このサンプルは、単純に、入力値をそのまま HTML ファイルに書き込む。
# 以下の、「print( "" )」から、カッコを閉じるまでのデータが書き込まれる。

fhtml = open("sf207.html", "w", encoding="utf-8")

print("書き込み開始")

print( ""

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN"
      "http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8">
<title>リンクと画像のサンプル</title>
</head>

<body>

<p>この下は、同じフォルダにあるファイルへのリンクのサンプルです。 </p>
<p><a href="donguri.txt" target="_blank">donguri.txt へのリンク</a></p>

<p>この下は、URL を使ったリンクのサンプルです。 </p>
<p><a href="https://ndlsearch.ndl.go.jp/" target="_blank">国立国会図書館サーチ
へのリンク</a></p>

<p>この下は、画像ファイルを表示させたサンプルです。 </p>
<p></p>

<p>この下は、URL を使ったリンクで、クリックする部分に画像ファイルを用いたサンプルです。 </p>
<p><a href="https://ndlsearch.ndl.go.jp/" target="_blank"></a></p>

</body>
</html>

""", file=fhtml)

fhtml.close()

print("書き込み終了")
```